

平成26年度  
事業報告書

平成27年5月28日

社会福祉法人賀集会

# 平成26年度 社会福祉法人賀集会 事業報告

## ○総括

消費税増税で幕を開けた26年度であったが、増税よりも、徐々に顕在化してきた介護職員の不足と、入居希望者の減少により新規入居者の受け入れにこれまでより時間がかかっていることが、施設運営に深刻な影響を与え始めている。

また、大幅な減額となった平成27年4月からの介護報酬改定や同じく4月からの地域包括ケアシステムの構築を目指した介護保険法改正、平成29年度からの施行が予定されている、社会福祉法人のガバナンスや財務規律の強化、運営の透明性の向上を目的とした社会福祉法の改正等、様々は制度改正が重なり、年度後半はその情報収集や対応に追われた。

我が国の厳しい財政状況や否応なく進行する少子高齢化など、これまでにない社会状況の下で、今後、厳しい法人運営並びに施設経営をしていかなければならないことを実感した1年であった。

## ○平成26年度の事業実施状況

### I. 法人運営

#### 1. 役員及び評議員の状況

##### ①現員数（平成27年3月31日現在）

理事（評議員兼務）	6名
監事	2名
評議員	13名

#### 2. 評議員会の開催状況

- ・ 第1回（平成26年5月29日(木) 10:00～11:00)  
議案：①平成25年度事業報告及び収支決算の認定について
- ・ 第2回（平成26年12月11日(火) 10:00～11:00)  
議案：①平成26年度上半期の運営状況について（報告）  
②平成26年度第1次収支補正予算の認定について  
③介護保険制度改正と介護報酬改定の動向について（報告）
- ・ 第3回（平成27年3月26日(木) 10:30～11:30)  
議案：①任期満了に伴う新役員の選任について  
②平成27年度収支予算及び事業計画の認定について  
③各種規程の改正について

#### 3. 理事会の開催状況

- ・ 第1回（平成26年5月29日(木) 11:00～12:00)  
議案：①平成25年度事業報告及び収支決算の認定について
- ・ 第2回（平成26年12月11日(火) 11:00～12:00)  
議案：①平成26年度上半期の運営状況について（報告）  
②平成26年度第1次収支補正予算の認定について  
③介護保険制度改正と介護報酬改定の動向について（報告）
- ・ 第3回（平成27年3月26日(木) 10:00～10:30, 11:30～13:00)

- 議 案：①任期満了に伴う新評議員の選任について  
 ②平成27年度収支予算及び事業計画の認定について  
 ③各種規程の改正について  
 ④任期満了に伴う新役員の選任について  
 ⑤理事長の互選について  
 ⑥理事長職務代理者の指名について  
 ⑦苦情解決体制における第三者委員の選任について

#### 4. 監事監査

日 時：平成26年5月27日(火) 10:00～11:00

内 容：平成25年度の理事の業務執行状況の確認及び法人の事業運営、財産、収支の状況のチェック

結 果：理事の業務は適正に執行されており、事業報告書、財務諸表は、法人の状況を正しく表示しているものと認める。

#### 5. その他

##### ①経営情報の開示

ホームページに、財務諸表、事業報告書、監事監査報告書、社会福祉法人現況報告書を掲載し、経営情報の開示に積極的に取り組んだ。

## II. 施設運営管理

### 1. 適切な収支差額を確保するための対策

#### (1) 入居稼働率（年98%）の維持

表1 在籍者数・在籍率

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
要支援の方の延べ人数	1,195	1,491	2,464	2,499	1,932
要介護の方の延べ人数	16,075	16,557	15,687	15,669	16,114
合 計	17,270	18,048	18,151	18,168	18,040
在籍率	94.6%	98.6%	99.5%	99.6%	98.9%

表2 入院や外泊をされている方を除く実質的なご利用者数・入居率

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
要支援の方の延べ人数	1,185	1,485	2,414	2,495	1,929
要介護の方の延べ人数	15,635	16,337	15,427	15,563	15,947
合 計	16,820	17,822	17,844	18,058	17,876
入居率	92.2%	97.4%	97.8%	98.9%	98.0%
1日あたりの利用者数	46.1人	48.7人	48.9人	49.5人	49.0人

・26年度の年間入居率は98.0%となり、25年度より0.9ポイント減ではあるが、目標の率は維持した。率の減少は、入院・外泊による不在日数の増及び入居者の方が入れ替わる時の空室期間の増による。

#### ①医療機関への入院を減少させる

表3 入院・外泊日数の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
入院・外泊による不在日数	450日	226日	307日	110日	170日

②退居後の新規入居者の迅速な受入

表4 新規入居及び退居者の状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居				2			1	2			1		6
退居			2			1	2		1			3	9

表5 平均空室期間

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
平均空室期間	157日	27日	14日	11日	28日

表6 入居待機者の状況

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
年度末時点の待機者数	94名	67名	68名	56名	15名
うち、順番が来たら、直ぐ入居したいとの意向の方		23名	30名	21名	2名
うち、将来的には入居したいとの意向の方		44名	38名	35名	13名
入居申込のキャンセル件数	29件	55件	28件	18件	22件
新規の入居申込受付件数	51件	35件	39件	10件	11件
新規入居者の平均待機年数	1年8月	1年6月	1年1月	1年5月	4ヵ月

- ・退居後に次の入居者が決定するまでの時間がかかるようになってきている。待機者数が目に見えて減少している。なかでも、直ぐに入居したいという意向をお持ちの方の減少が著しい。

(2) 要介護度区分の見直しと区分変更の実施

表7 要介護度別在籍者数の1年間の推移（毎月末日時点の実数）

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	2	2
要支援2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要介護1	11	12	12	11	12	11	12	11	11	11	14	14
要介護2	12	12	12	14	14	12	11	12	12	11	10	10
要介護3	9	9	8	7	7	6	5	4	3	2	3	3
要介護4	7	7	7	7	7	10	10	11	11	12	11	10
要介護5	5	5	4	5	5	5	5	6	6	7	8	7
合計	50	50	48	50	50	49	48	50	49	49	50	48

- ・要介護度の見直しを行った結果、9月頃より要介護度が重度に変更される方が増えており、介護報酬の増額に繋がっている。

(3) 助成金、補助金等の活用

26年度中に受給した補助金及び助成金

- ・三重県軽費老人ホーム運営費補助金 14,157,000円
- ・三重県結核健康診断補助金 16,566円
- ・雇用保険両立支援助成金（子育て期短時間勤務支援助成金） 150,000円

(4) 事務費、事業費支出管理

①LED照明の導入による効果

平成26年3月に、共同生活室・廊下常夜灯・厨房・事務所の蛍光灯をLEDに交換した。エアコン等の使用状況にも影響されるが、前年度比の電気使用量は94.7%となり、想定以上の効果がみられた。ただし、基本料金が上がったため、金額面での

効果は相殺された。

②その他実施した経費削減策

- ・施設内全てのエアコンと、居室の換気空清機のフィルター清掃
- ・省エネルギーを呼び掛ける貼り紙の掲示
- ・プラスチック手袋の品質を落とさず単価の安い商品に変更した

2. 人事管理、労務管理

(1)職員数

表8 職員数の推移（各年度末（3月31日）時点の状況）

		22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末
職員数	常勤	24人	25人	23人	24人	22人 (うち派遣1人)
	非常勤	17人	15人	16人	13人	12人
	合計（常勤換算後）	33.8人	33.7人	33.1人	31.4人	29.0人
内訳	介護職員	常勤16人 非常勤9人	常勤17人 非常勤6人	常勤14人 非常勤7人	常勤17人 非常勤5人	常勤14人 非常勤5人
	看護職員 2人以上	常勤1人 非常勤3人	常勤1人 非常勤3人	常勤1人 非常勤3人	非常勤3人	常勤1人 非常勤3人
	介護・看護職員 数(常勤換算後) 16.7人以上	24.0人	23.3人	21.8人	21.4人	20.9人
	施設長 1人以上	常勤1人	常勤1人	常勤1人	常勤1人	常勤1人
	副施設長		常勤1人	常勤1人	常勤1人	常勤1人
	計画作成担当者 (ケアマネージャー) 1人以上	常勤1人	常勤1人 (介護職員兼務)	常勤1人 (兼務→専従)	常勤1人	常勤2人 (相談員兼務1、 栄養士兼務1)
	生活相談員 1人以上	常勤1人	常勤1人 非常勤1人	常勤1人 非常勤1人	常勤1人 非常勤1人	常勤2人 (うち派遣1人)
	事務員 1人以上	常勤2人 非常勤1人	常勤2人 非常勤1人	常勤2人 非常勤1人	常勤1人 非常勤1人	常勤1人 非常勤1人
	栄養士 1人以上	常勤1人	常勤1人	常勤1人	常勤1人	常勤1人 (計画作成兼務)
	その他の職員 適当数	常勤1人 非常勤4人	常勤1人 非常勤4人	常勤1人 非常勤4人	常勤1人 非常勤3人	常勤1人 非常勤3人
1年間の 入退職者	入職者数	常勤1人 非常勤3人	非常勤2人	常勤5人 非常勤2人	常勤2人	常勤3人 派遣職員3人
	退職者数	常勤2人 非常勤3人	非常勤2人	常勤5人	常勤2人 非常勤2人	常勤5人 非常勤1人 派遣職員2人

注) 職員数は育児休業、休職等の長期不在中の者を除く。

- ・職員数は減少している。退職者の補充ができない状況が続いている。最低基準数を割り込むほどではないが、残った職員の業務負担が増している。

介護・看護職員の常勤換算後の総数は、3月末時点で20.9人となり、入居者の方に上乗せ負担していただいている人員配置が手厚い場合の介護サービス利用料（20,000円/月）の徴収基準「利用者2.5人に1人以上の介護・看護職員の配置（当施設の場合は、介護・看護職員の常勤換算後の合計が20人以上）」を辛うじて上回る水準である。

表9 人事異動の状況

日付	入職	退職	長期休業
平成26年4月30日		看護主任1名 (勤続5年5月)	
6月18日	介護員(派遣)1名 看護職員(派遣)1名		
6月30日		介護員1名 (勤続4年3月)	
7月8日	非常勤介護員1名		
7月31日		介護員1名 (勤続6年2月)	
8月18日		介護員(派遣)1名 (勤続2月)	
9月8日	看護職員1名		
9月25日			生活相談員1名 産休～育休
9月29日			生活相談員1名 産休～育休
9月30日		看護職員(派遣)1名 (勤続3月)	
10月1日	介護員1名		
10月15日	生活相談員(派遣) 1名		
12月15日		介護員1名 (勤続2月)	
平成27年2月22日		非常勤介護員1名 (勤続6月)	
3月15日		介護員1名 (勤続8年4月)	

・ハローワークや求人広告掲載など従来の手法だけでは、人材の採用は極めて困難になってきている。26年度は、人材派遣や有料職業紹介も活用し、人員の補充に努めたが、人手不足を完全に解消するには至っていない。

採用後の定着も図れていない。26年度の退職者を勤続年数別に見ると、中堅からベテランに近いケースと採用後間もないケースとの二極化の傾向がうかがえる。

表10 平均勤続年数の推移（各年度末（3月31日）時点の状況）

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
平均勤続年数	全体	3年4月	4年3月	5年	5年11月	6年5月
	常勤	3年6月	4年5月	5年	5年8月	6年2月
	非常勤	3年1月	4年	4年11月	6年5月	6年11月
	介護職	3年1月	3年11月	4年5月	5年4月	6年4月
	看護職	3年8月	4年8月	5年8月	6年8月	6年3月
	管理職	5年1月	6年1月	7年1月	8年1月	9年1月
	事務員	1年7月	2年7月	3年7月	4年6月	5年6月
	生活相談員	2年1月	3年11月	4年11月	5年11月	4年9月
	計画作成担当者		5年7月	6年7月	7年7月	8年7月

	栄 養 士	4年6月	5年6月	6年6月	7年6月	8年6月
	そ の 他	4年4月	5年4月	6年4月	7年3月	6年7月

注1) 平均勤続年数の算定には、育児休業、休職等の長期不在中の者も含む。

注2) 22年度の計画作成担当者は、管理者が兼務しているため空欄となっている。

## (2) 福利厚生

### ①年次有給休暇の取得状況

表11 年次有給休暇取得率の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
対象職員数	36	36	39	38	37
付与日数	444	508	599	612	614
取得日数	276.5	363	464	537	377
消化率	62.3	71.5	77.5	87.7	61.4

### ②育児・介護との両立支援制度の利用状況

- ・育児短時間勤務制度利用人数 3名

## (3) 健康管理、労働環境整備

### ①定期健康診断の実施 平成26年9月19日～9月29日（夜勤従事者 計14名）

平成27年1月9日（非常勤職員含む全職員対象 計32名）

### ②腰痛予防対策

- ・「腰痛予防対策について」施設内研修として伝達講習報告会を開催

（平成26年11月26日）

### ③労働環境の整備

- ・介護員室の暑さ対策

介護員室のはきだし窓に日除けのヨシズを設置、またエアコンの冷気を介護員室に送るため、サーキュレーターと扇風機を使用し、暑さの軽減に努めた。

### ④会議等による業務改善の取り組み

表12 会議の開催

会議名	日 付	参加者	主な議題
職員会議	平 成 27 年 3 月27日	施設長・副施設長・正職員	介護保険法改正、介護報酬改定を受けた今後の経営方針について
定例会議	月 1 回 開催	施設長・副施設長・介護主任・介護リーダー・看護師・栄養士・事務職員・生活相談員又は計画作成担当者	事務連絡及び施設内の様々な懸案事項の検討
ケアカンファレンス	計 79 回 開催	施設長・副施設長・介護主任・看護師・栄養士・担当介護員・生活相談員・計画作成担当者	入居者のサービス計画の策定及び見直し
入居検討委員会	計 7 回 開催	施設長・副施設長・介護主任・看護師・栄養士・計画作成担当者・生活相談員	入居待機者の面接調査結果の情報共有及び入居の可否の判断
事故防止委員会	概ね月 1 回 開 催	各担当職員	施設内での事故事例の収集と防止対策の検討・実施
感染症対策委員会			施設内での感染症予防対策の検討・実施

エネルギー・経費削減委員会			光熱水費の節約等の経費削減策の検討・実施
レクリエーション委員会			レクリエーション、行事の企画・実施
入浴委員会			入浴に関する業務改善等の検討実施
接遇・マナー向上委員会			接遇マナーの向上、研修会の企画実施
QOL 向上委員会			入居者の生活の活性化に資する取組の検討実施
広報委員会	3ヶ月に1回		広報誌（年4回発行）の編集・作成
給食会議	月1回	施設長・副施設長・栄養士・委託業者担当者及び現場調理師	給食及び行事食の内容、日々の業務改善について

#### (4) 職員の資質向上

##### ① 研修会の開催、参加

表13 職場内研修の実施状況

日 程	内 容
平成26年7月2日	衛生講習会「食中毒予防・手洗いの方法」 講師：伊勢保健所
11月27日	伝達講習会「腰痛予防対策について」
12月17日	感染症対策委員会研修「感染症の予防について」
3月30日	伝達講習会「高齢者虐待防止について」

表14 職場外研修の実施状況

日 程	研 修 名	主催者	参加者
平成26年5月14日	社会福祉法人役員及び幹部職員研修会	伊勢市・三重県	副施設長
5月14日	数字に強くなるための簿記入門	百五経済研究所	事務員
5月20日	平成26年度第1回総会・経営セミナー「社会福祉法人経営の目指すべき方向」	三重県経営協	副施設長
5月21日	平成26年度伊勢市介護保険サービス事業者連絡会総会	伊勢市介護保険サービス事業者連絡会	副施設長
6月11日	平成26年度 雇用主説明会	伊勢公共職業安定所	副施設長
6月26日	福祉栄養士研修会「非常時の対応（演習・試食）」	三重県福祉栄養士研究会	栄養士
10月8日	伊勢志摩ブロック介護・看護部会会議	伊勢志摩ブロック連絡協議会	介護主任
10月14日	居宅介護支援部会・施設部会合同研修会「介護保険施設見学」	伊勢市介護保険サービス事業者連絡会	計画作成担当者 栄養士
10月16日	栄養士・調理職員研修会「美味しく、安心・安全な食事の提供とは～介護施設・介護事業所の食事の在り方」	三重県老施協	栄養士
10月30日	第1回「地域包括ケア会議・いせ」	伊勢市介護保険課	副施設長
10月31日	社会福祉法人新会計基準研修会	三重県福祉監査課	副施設長

			事務員
11月5日	管理職・リーダー層のための リスクマネジメント実践セミナー	あいおいニッセイ 同和損保	副施設長
11月7日	伊勢志摩ブロック研修会 「高齢者虐待の防止について」	伊勢志摩ブロッ ク連絡協議会	副施設長 計画作成担当者 介護リーダー 看護職員
11月12日	伊勢志摩ブロック給食部会 「施設見学」	伊勢志摩ブロッ ク連絡協議会	栄養士
11月12日	介護職員研修会 「認知症ケアと高齢者の医学知識」	三重県老施協	介護員
11月13日	介護経営フォーラム 「これからの介護経営とマーケティング戦略」他	㈱グリーンスト ック	副施設長
11月14日	事務職員研修会 「福祉職場における労務管理の基礎」	三重県老施協	総務
11月14日	伊勢志摩ブロック生活相談員部会会議	伊勢志摩ブロッ ク連絡協議会	副施設長
11月20日	商工会議所研修会 「100%仕事成功のおもてなしの習慣」	伊勢商工会議所	施設長
11月27日	運営管理研修会 「福祉施設の労使トラブル未然防止策」	三重県経営協	副施設長
11月28日	伊勢志摩ブロック施設長研修会 「防災関係について」	伊勢志摩ブロッ ク連絡協議会	施設長 副施設長
12月16日	・浴場の衛生管理講習会 ・メンタルパートナー養成研修	伊勢保健所	総務
12月18日	第2回「地域包括ケア会議・いせ」	伊勢市介護保険課	副施設長
12月19日	人材育成に関する研修会 「リーダーの役割とは」	三重県老施協	施設長
平成27年1月6日	給食施設管理者研修会 「日本人の食事摂食基準の活用」	伊勢保健所	副施設長 栄養士
1月13日	三重県老施協軽費ケア部会・全軽協合 同研修会	三重県老施協 軽費・ケア部会	施設長 副施設長
1月22日	ビジネスセミナー 「医療・介護統合経営戦略」「人材経営の 秘訣」	あいおいニッセイ 同和損保	副施設長
1月23日	伊勢志摩ブロック相談員研修会 「介護職のためのチームワーク向上研修」	伊勢志摩ブロッ ク連絡協議会	計画作成担当者 介護リーダー
1月27日	改正パートタイム労働法・改正次世代 法説明会	三重労働局	副施設長
1月28日	伊勢志摩ブロック介護・看護部会研修 会「現場の接遇の指導方法」	伊勢志摩ブロッ ク連絡協議会	介護主任
1月28日	役員等研修会 「社会福祉法人の地域貢献事業の在り方」 「社会福祉法人の財務運営」	三重県経営協	施設長 副施設長
2月7日	セミナー「拘縮が強い利用者の 進行させ ない!拘縮予防と有効なポジショニング」	全国高齢者施設 看護師会	介護員
2月13日	課題別専門研修 「地域包括ケアシステムにおける社会福祉 法人の役割」	三重県社会福祉 協議会	副施設長
2月18日	伊勢志摩ブロック給食部会 勉強会・意見交換会	伊勢志摩ブロッ ク連絡協議会	栄養士
2月19日	第3回「地域包括ケア会議・いせ」	伊勢市介護保険課	副施設長

2月21日	障害者虐待防止・成年後見制度講演会	伊勢市健康福祉部	副施設長
2月23日	制度改正・介護報酬改定研修会	三重県老施協	副施設長
3月8日	セミナー「食形態の選択・変更のタイミングと食事ケア」	全国高齢者施設看護師会	介護主任
3月10日	平成26年度総会・トップセミナー 「社会福祉法人は逆風にいかに立ち向かうべきか」	三重県老施協	副施設長
3月11日	三重県経営品質賞 表彰式・記念講演 「こうほうえんの顧客インサイト」	三重県	副施設長
3月13日	伊勢志摩ブロック施設長会議	伊勢志摩ブロック連絡協議会	施設長
3月20日	伊勢志摩ブロック生活相談員部会会議	伊勢志摩ブロック連絡協議会	計画作成担当者
3月24日	平成26年度第2回総会・経営セミナー 「社会福祉法人を取り巻く状況とこれからの戦略」	三重県経営協	副施設長

## ②資格取得等支援補助制度の利用状況

- ・資格取得費用援助制度利用者…1名

表15 有資格者数の推移(派遣職員除く) (人)

		22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末
介護福祉士	正職員	5(1)	5	13(4)	14	10
	非常勤	1	2	2	1	1
介護支援専門員		1	2(1)	3(1)	4(1)	4(1)
社会福祉士		1	1	1	1	1
社会福祉主事		3	7(4)	8(1)	8	7

注)カッコ内は当該年度に資格取得支援制度を利用した人数を再掲。

## 3. 防災対策

### (1) 消防訓練の実施

平成26年6月5日 ・自衛消防訓練（昼間想定）※地震・連絡・火災  
 ・前日21時に「ケアハウス賀集楽災害時職員緊急連絡網」を使用した電話による連絡訓練を開催

平成26年10月30日 ・自衛消防訓練（夜間想定）※連絡・火災  
 ・前日に同上の連絡訓練を開催

### (2) 消防設備、居室内の電気設備等の自主点検 毎月1回実施

### (3) 地域との連携

平成26年7月18日 伊勢市と「災害時等における避難所等要援護者の応急措置等に関する協定」を締結

## 4. 衛生管理

### (1) 定期点検、定期清掃の記録

- ・エアコン、換気空清機等のフィルター清掃 シーズン毎に実施
- ・厨房グリストラップ清掃（専門業者） 平成26年 6月 9日、平成26年10月10日  
平成27年 2月17日
- ・厨房防虫防鼠管理（専門業者） 毎月1回点検実施
- ・浴槽水水質検査（専門業者） 平成 27年 1月 20日

・浴槽水残留塩素測定

毎回入浴前に実施

### 5. 修繕等保守管理

#### (1) 定期点検、定期清掃の記録

- ・床、窓清掃（専門業者） 平成27年 1月13日～14日
- ・消防設備点検（専門業者） 平成26年 6月 5日、平成26年12月16日
- ・電気設備点検（専門業者） 隔月1回点検実施

#### (2) その他主な修繕

- ・PHS 買い替え（6月）・居室エアコン交換（7月）・厨房壁修繕（8月）
- ・浴室脱衣所床塗装（2月）・ウォシュレット、水栓修理

### 6. 広報活動

#### (1) 広報誌「賀集楽だより」の発行

・平成26年4月15日 賀集楽だより第15号

・平成26年7月15日 賀集楽だより第16号



・平成26年10月15日 賀集楽だより第17号

・平成27年1月15日 賀集楽だより第18号



#### IV. 入居者援助について

##### 1. 入居者の状況

###### (1) 入退居の状況

表16 入居前居所内訳 (人)

	医療機関	老人保健施設	その他入所施設・サ高住等	自宅・居室	合計
平成22年度	1	3	1	2	7
平成23年度		3	4	3	10
平成24年度		3	2	3	8
平成25年度	3	2	2		7
平成26年度	1	1		4	6

表17 退居理由内訳 (人)

	死亡		医療機関に入院	他施設に転居	その他	合計
	当施設	医療機関				
平成22年度	1	2	2			5
平成23年度	7	2				9
平成24年度	6	1	1			8
平成25年度	1		4	2		7
平成26年度	5	1	2	1		9

・退居者9名のうち6名が入居期間5年以上で、6名のうち4名は開設年度(18年度)から入居されていた方である。死亡による退居者6名の平均年齢は92歳で、うち3名が97歳以上である。

表18 新規入居者・退居者の要介護度別内訳 (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
入居者	1		2	1		1	1	6
退居者				1	2	3	3	9

###### (2) 入居期間、年齢の状況

表19 入居期間（毎年度末時点）

入居期間		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
6ヵ月未満	男	2		1	2	
	女	2	7		1	4
6ヵ月以上 1年未満	男	1	1	2	1	1
	女	2	2	7	2	1
1年以上 3年未満	男	2	4	2	4	5
	女	10	11	11	12	8
3年以上 5年未満	男	5	2	2	2	2
	女	25	7	7	6	8
5年以上 7年未満	男		4	5	1	
	女		12	13	2	3
7年以上 9年未満	男				4	5
	女				13	11
合計	男	10	11	12	14	13
	女	39	39	38	36	35
平均		3年2ヶ月	3年2ヶ月	3年7ヶ月	4年4ヶ月	4年7ヶ月

最長	4年10ヶ月	5年10ヶ月	6年10ヶ月	7年10ヶ月	8年10ヶ月
最短	0ヶ月	0ヶ月	3ヶ月	0ヶ月	1ヶ月

表20 年齢分布（毎年度末時点）

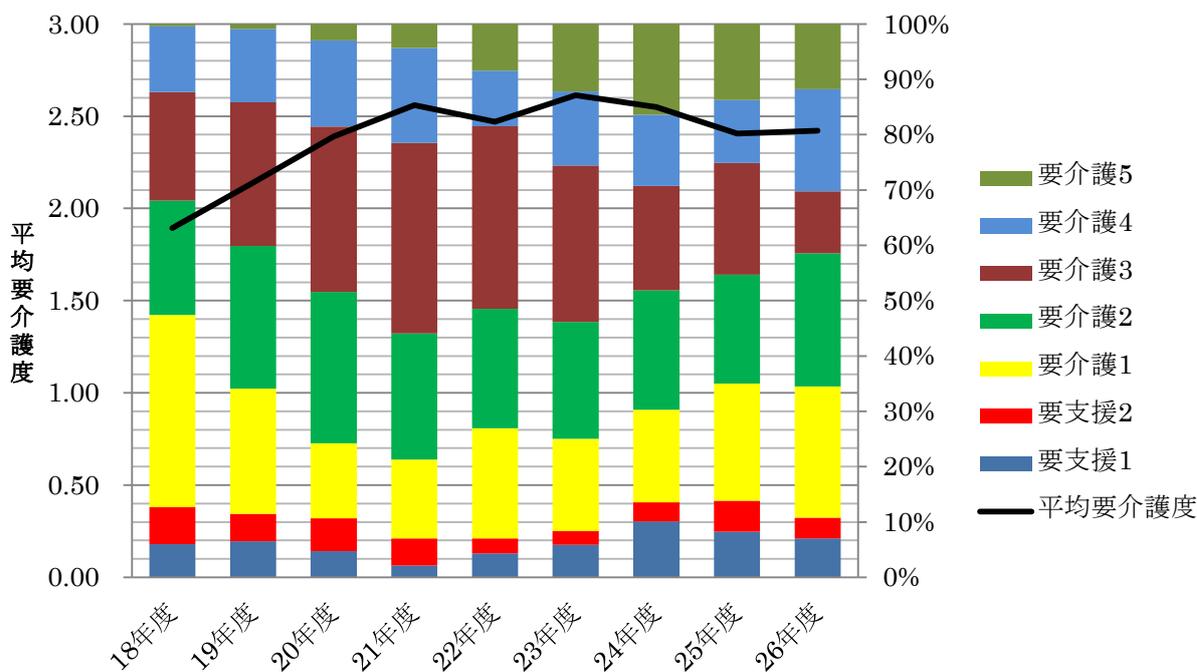
年齢		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
65～69歳	男	1		1	1	
	女					
70～74歳	男		1	2	1	2
	女				1	1
75～79歳	男				1	1
	女	4	3	2	1	2
80～84歳	男	4	4	2	3	2
	女	10	11	10	8	6
85～89歳	男	2	2	3	4	4
	女	8	11	12	13	12
90～94歳	男	4	3	2	2	3
	女	9	7	8	6	7
95～99歳	男		1	2	2	1
	女	6	7	6	7	6
100歳～	男					
	女	1				1
合計	男	11	11	12	14	13
	女	38	39	38	36	35
平均年齢		87歳7ヵ月	87歳4ヵ月	87歳5ヵ月	87歳8ヵ月	87歳1ヵ月

- ・平成27年3月31日現在の平均年齢は、男性85歳3ヵ月、女性88歳9ヵ月である
- ・平成27年3月31日現在の最高齢者100歳(女・同日付けで退居)、最年少70歳6ヵ月(男)

### (3) 要介護度の状況

表21 要介護度分布の推移

年 度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
要支援1	6.0%	6.5%	4.7%	2.1%	4.3%	5.9%	10.1%	8.3%	7.0%
要支援2	6.7%	5.0%	6.0%	4.9%	2.7%	2.4%	3.5%	5.6%	3.7%
要介護1	34.8%	22.6%	13.6%	14.3%	19.9%	16.7%	16.7%	21.2%	23.7%
要介護2	20.6%	25.8%	27.3%	22.8%	21.6%	21.1%	21.6%	19.7%	24.0%
要介護3	19.6%	26.0%	29.9%	34.5%	33.0%	28.3%	18.9%	20.2%	11.2%
要介護4	11.9%	13.2%	15.6%	17.1%	10.0%	13.4%	12.8%	11.3%	18.5%
要介護5	0.4%	0.9%	3.0%	4.3%	8.4%	12.2%	16.4%	13.8%	11.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
平均要介護度	1.89	2.14	2.39	2.56	2.47	2.61	2.55	2.41	2.42



・割合が増えているのは要介護1,2及び要介護4、一方要介護3は減少傾向にある。  
要支援→要介護軽度、要介護中度→要介護重度の傾向がうかがえる。

#### (4) 日常生活自立度の状況

表22 障害高齢者、認知症高齢者の日常生活自立度別人数 (平成27年3月31日現在)

		認知症高齢者の日常生活自立度								合計	
		自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M		
障害高齢者の日常生活自立度	自立			1						1	
	生活自立	J1									
		J2	4	1	2		1				8
	準寝たきり	A1	1	3		2		1			7
		A2	2	1	2	1					6
	寝たきり	B1	3	2	2	4	2				13
		B2	3				2	1	1	1	8
		C1				2			2		4
		C2							1		1
	合計		13	7	7	9	5	2	4	1	48

・障害高齢者の日常生活自立度はBランクが最も多く、認知症高齢者の日常生活自立度では、ランクIIが最多で、次いで自立の順である。

## 2. 入居者への援助の実際

### (1) 介護の状況

表23 日常生活で必要となる介助（平成27年3月31日現在・入院中の方除く）

区 分		実数 (人)	割合 (%)	区 分		実数 (人)	割合 (%)	区 分		実数 (人)	割合 (%)
食 事 (注1)	自立	31	69	着 脱 衣	自立	22	47	立 ち 上 が り	自立	26	55
	一部 介助	6	13		一部 介助	6	13		一部 介助	7	15
	全部 介助	8	18		全部 介助	19	40		全部 介助	14	30
服 薬 (注1)	自立	17	38	排 泄	自立	9	19	ね が え り	自立	33	70
	一部 介助	2	4		一部 介助	16	34		一部 介助	0	0
	全部 介助	26	58		全部 介助	22	47		全部 介助	14	30
洗 面 ・ 口 腔 清 潔	自立	26	55	入 浴	自立	0	0	歩 行 (注2)	自立	8	17
	一部 介助	8	17		一部 介助	24	51		一部 介助	9	19
	全部 介助	13	28		全部 介助	23	49		全部 介助	30	64
整 容	自立	8	17	起 坐	自立	29	62	車 椅 子 で の 移 動	自立	14	46
	一部 介助	23	49		一部 介助	3	6		一部 介助	5	17
	全部 介助	16	34		全部 介助	15	32		全部 介助	11	37

注1) 食事や服薬に関する準備又は後片付け（配膳・配薬等）の介助は含まない。また、経管栄養の方は集計対象から除いている。

注2) 「シルバーカーや歩行器を使用しての歩行」は、「一部介助」に含む。常態として車いすで移動している場合は、「全部介助」に含む。

表24 入浴形態の状況（平成27年3月31日現在）

	対象者数（人）
個人浴槽	25
大浴槽（一般浴槽）	0
機械浴槽（チェアインバス）	22
清拭のみ	0

・入居者の重度化に伴って、自立度の高い方が対象の大浴槽の利用者は年々減少し、現在は実質ゼロの状態である。

表25 オムツ類の利用状況（平成27年3月31日現在）

	対象者数（人）	
	終日使用	夜間のみ使用
オムツ	14	9
紙パンツ	22	0
パッド類のみ	7	0
使用なし	4	

(2) 看護・医療の状況

表26 医療処置の状況（平成27年3月31日現在）

処置の内容	対象者数 (人)
薬剤の管理	45
胃ろう	2
人工肛門	1
褥瘡の処置	2
褥瘡以外の皮膚疾患、創傷の処置	43
目薬等の外用薬の使用	15
排便コントロール（下剤調整等）	44
疼痛のケア	18

表27 褥瘡予防・悪化防止対策の状況（平成27年3月31日現在）

	対象者数 (人)
定期的な体位変換	10
エアマットの使用	9
除圧用具(クッション・マット等)の使用	10

表28 医療機関への受診件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	26年 度計
訪問 診療・ 往診	内科	110	110	130	127	110	127	86	100	98	98	100	115	1311
	歯科	30	31	39	31	34	43	34	18	1	10	6	15	292
	皮膚科	1							4	4	6	8	4	27
通院	自力 通院	2	2	2	1	2	2	4	5	4	1	3	4	32
	施設 付添	11	13	12	9	7	14	12	11	4	10	14	22	139
	家族 付添	6	3	3	3	3	3	3	3	3	2	6	7	45
	救急 搬送		1									1		2

・褥瘡等の皮膚疾患の増加に伴い、皮膚科の訪問診療が増えている。

表29 受診科別の通院件数

診療科	内科	外科	整形外科	胃腸科	神経内科	泌尿器科	循環器科	皮膚科
	28	30	23		8	1	5	18
	肛門科	眼科	耳鼻科	心療内科	精神科	救急外来	口腔外科	その他
8	48	6		11	6		27	

表30 医療機関への入院の状況

月	要介護度	入院理由	日数	備考
4	要介護3	肺炎	14	
	要介護2	前立腺癌治療	7	

5	要介護3	脳梗塞	6	
6	要介護3	脳梗塞	22	入院中に退居
8	要介護4	低血糖	11	
10	要介護4	頻脈性不整脈・胃腸炎	3	
12	要介護3	左大腿骨転子下骨折	13	
1	要介護4	肺炎	6	
2	要介護4	肺炎	2	
	要介護5	誤嚥性肺炎	12	
	要介護1	脳梗塞	4	
	要介護4	脳梗塞	2	
3	要介護1	脳梗塞	15	
	要介護4	脳梗塞	31	入院中に退居
	要介護4	左大腿骨頸部骨折	8	
	要介護4	虚血性心疾患	0	入院当日に死亡
合計			156	

※入退院当日は、入院日数から除く（入院中退居日は含む）。

- ・高齢化、重度化に伴う疾患の悪化による入院が多くなっている。

#### 入居者の定期健康診断

- ・定期健康診断 平成26年9月に実施 受診入居者50名 健診機関：西山医院
- ・結核健康診断（胸部エックス線撮影）  
平成26年9月4日 入居者50名 健診機関：三重県健康事業センター

表31 外部サービスの利用者数（平成27年3月31日現在）

サービスの内容	対象者数 (人)
口腔ケア(歯科衛生士による居宅療養管理指導)	13
あん摩マッサージ師による訪問マッサージ	5

### (3) 事故防止・感染症防止対策

#### ① 事故防止

表32 26年度に発生した事故（統計）

事故内容	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
転倒・転落	77件 (うち骨折4件)	109件 (うち骨折2件)	95件 (うち骨折2件)	80件 (うち骨折1件)	109件 (うち骨折0件)
誤薬・服薬忘れ	2件	0件	0件	0件	9件
誤飲・異食	1件	3件	3件	1件	1件
内出血・表皮剥離					7件
離設	7件	3件	2件	5件	1件
その他					6件 (うち骨折2件)

・26年度の報告事故件数は133件で、25年度より47件増えている。うち転倒・転落が約20件増加している。転倒による骨折はなかったものの、原因不明の大腿骨頸部骨折が2件発生した。他には、誤薬が例年に比べ増えている。また、25年度に発生した介

護事故の反省を受け、内出血・表皮剥離の事故の報告も増えている。

表33 26年度に発生した転倒・転落事故の内訳

発生場面	移動中 . . . 72件 移乗中 . . . 7件 その他 . . . 30件
発生場所	居室 . . . 93件 トイレ . . . 6件 共同生活室 . . . 8件 廊下 . . . 1件 浴室 . . . 0件 その他 . . . 1件
発生時間	午前0時～午前8時 . . . 31件 午前8時～午後1時 . . . 21件 午後1時～午後7時 . . . 39件 午後7時～午前0時 . . . 18件

表34 26年度に発生した転倒・転落事故の入居者別件数

1年間に転倒・転落事故を起こした件数	10回以上	9回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回
23年度	2名		4名	1名	2名		6名	6名	10名
24年度	1名	1名	2名 (骨折1名)	1名	2名	3名	3名	6名	13名 (骨折1名)
25年度	3名	1名	1名	1名			1名	4名	12名
26年度	3名		2名	1名	2名	1名	1名	4名	7名

#### 実施した事故防止策

- 転倒による骨折防止
  - ・低床ベッド、自動ブレーキ機能付き車いすの活用
  - ・センサーコールマット、衝撃緩和のためのクッションマットの活用
  - ・転倒等を繰り返される方には、職員の目が届きやすい場所で過ごしていただく
  - ・安定した座位を保つためのクッションの使用
- 誤薬防止
  - ・配薬時の本人確認の徹底

## ②感染症防止対策

26年度は施設内での感染症（ノロウイルス・インフルエンザ等）の集団発症や食中毒の発生事故はなかった。

#### 実施した感染症防止策

- ・「嘔吐物処理方法の手順」の復習
- ・嘔吐物処理キットの不足品チェックと補充
- ・清掃用消毒液の作成
- ・正しい手洗い方法の習得
- ・食事前の手の消毒の徹底
- ・日々使用するカップ類やストローの定期消毒又は交換
- ・共同カーテンの定期洗濯
- ・食中毒予防、感染症対策についてDVDを用いて研修会の実施

#### (4) 身体拘束の状況

表35 やむを得ず実施している身体拘束（平成27年3月31日現在）

身体拘束の様態	自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。
対象者数(人)	1名
やむを得ず身体拘束を行う理由	立位が出来ずベッド上での生活だが、体動が激しく自分でベッドから降りようとして転落してケガをする心配がある為。
開始日	平成27年2月14日～
拘束中止に向けた取り組み	ベッドサイドにクッションマットを敷きその上にセンサーマットと衝撃緩和マットを敷いて、転落してもケガのないようにしている。 また、日中は出来るだけ車椅子で生活して頂き、離床時間を長くする事で夜間よく休まれるように促している。

#### (5) 入居者の生活の質の向上

##### ①レクリエーション（行事）の実施

表36 レクリエーションの記録

日 程	内 容
平成26年5月12日～14日	花畑散歩（津村町・花開道）
6月4日～13日	寿司ツアー（外食）
7月6日	七夕行事「短冊・飾り付け」
8月22日、25日	買い物ツアー（イオンジャスコ）
9月15日	敬老の日イベント 音楽療法（音楽療法士 弓指美晴先生）
10月19日	賀集楽秋祭り
11月21日～25日	紅葉ドライブツアー（五十鈴公園、徴古館）
12月15日～17日	クリスマス会（入居者様にプレゼント贈呈）
平成27年1月8日	新春もちつき大会
2月1日	節分行事
3月3日	ひな祭り（甘酒作り）
3月31日	お花見ツアー
毎月…季節に合わせた壁飾りを入居者様と一緒に作成	



賀集楽まつり



クリスマス会



季節の壁飾り

②地域交流

a. ボランティア・慰問

表37 ボランティアの受け入れの記録

平成26年4月20日	わらべ 歌の慰問 (5名)
平成26年5月13日	ボランティア レクツアー同行 (1名)
平成26年6月1日	豆の木グループ 歌謡コンサート (6名)
平成26年6月4日	進修小学校5年生 総合学習・施設見学 (33名)
平成26年6月10日	ボランティア レクツアー同行 (1名)
平成26年7月3日	進修小学校5年生 総合学習・レクリエーション (33名)
平成26年8月24日	カラオケ愛好家によるカラオケ・トーク (1名)
平成26年9月15日	伊勢志摩音楽療法研究会 弓指美晴先生 音楽療法 (1名)
平成26年12月7日	カラオケ愛好家によるカラオケ・トーク (1名)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護相談員 (2名) 月1回訪問</li> <li>・絵手紙講習 (講師4名) 月1回開催</li> <li>・書道講習 (講師3名) 月1回開催</li> <li>・パン屋さん(あんぱん) 訪問販売 月2回開催</li> </ul>	



音楽療法



進修小学校 施設見学

b. 地域住民との関わり

平成26年12月22日(月) 13:30～15:00

進修まちづくりの会「ふれあいサロン」に入居者4名参加

c. 実習、研修の受入

平成27年3月16日(月)～3月20日(金) 5日間

社会福祉法人秀嶺福祉会(南伊勢町) 施設開設に伴う新規採用職員研修受入  
(5名参加・座学及び介護現場実習)

### ③家族との関わり

表38 面会の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ件数	134	227	205	187	171	170	147	170	186	169	158	186	2110
延べ人数	340	318	283	263	283	253	215	249	290	247	226	272	3239

### ④その他の取組

- ・買物代行サービス 1回/週実施。近隣のスーパー等でご要望の品を購入。  
利用料…無料

- ・近隣のコンビニエンスストアへの買物送迎車の運行 1回/週実施  
26年度実績

運行回数	利用者数 (実数)	利用者数 (延べ数)	利用料
44回	6名	140名	無料

- ・入居者の方の希望による個別的な介護サービスの実施状況  
26年度実績

内容	延べ利用 人数	利用料
週3回以上の入浴介助	なし	540円/回
外出、通院、入退院の 介助	通院、入退院	159名
	外出	13名
伊勢市外に在する店舗等への買物等 の代行	なし	1,080円/1時間

## V. 給食について

### 1. 適温での食事提供

・長年の課題であった“温かい食事の提供”を実現するため、電気温蔵庫を新たに購入した。これにより、これまではご飯と汁物を盛り付けている間に冷めてしまっていたメイン料理も、配膳時間直前まで温蔵庫に入れておけるため、温かい状態で入居者の方に提供できるようになった。

・同様に、冷たい物は、盛り付け時に冷蔵庫から出して盛り付けることでひんやりとした状態で提供できるよう配慮した。温かい料理の添えに生野菜がある時には、配膳時に生野菜を盛り付けるようにしている。

・メニューにより、盛り付けと配膳のタイムラグから生じる課題の解消に向けて工夫をしている。

時間が経つと伸びてしまう麺類は、厨房では麺と具材だけを器に盛り付け、おつゆはフロアで配膳時に職員がかけて提供するようにした。そうすることで麺の歯ごたえを残し、かつ、トレイにつゆがこぼれることもなく、おいしく食べていただくことができる。

おやつアイスクリームは、厨房から一斉に運ぶ方法ではなく、1フロア分ずつ冷凍庫から出して、その都度各フロアへ運び、フロアでも一旦冷凍庫にしまってから食べる直前に配膳する等、喫食までに溶けてしまわないよう配慮している。

## 2. 重度化、複雑化する入居者ニーズへの対応（平成27年3月31日現在）

表39 食事形態の状況

食事形態		対象人数 (人)
ゼリー食	全食事	3
	汁のみ	2
ミキサー食	とろみ有	1
お粥、超刻み食	とろみ有	4
	少・とろみ有	1
お粥、刻み食	少・とろみ有	2
軟飯、刻み食	とろみ有	2
半固形流動食	経管栄養	2

表40 特別食の提供状況

食種	対象人数 (人)
塩分制限食	8
糖尿病対応食	7

表41 栄養補助食品の利用状況（平成27年3月31日現在）

種類	対象人数 (人)	種類	対象人数 (人)
大塚カロリーメイトゼリー	2	ニュートリー アイFOゼリー	4
明治ブリックゼリー	1	大塚 OS-1	1
明治メイバランスソフト jelly	1	プロキアZ	1
明治メイプロテイン Zn	1		

### 嚥下困難者・食思不振者への対応実績

- ・日頃、お粥を食べている方でも、好物のものはご飯でも大丈夫な方もおられるため、炊き込みご飯や丼もの、カレーライスなどの時は軟飯や常飯に形態を変えて提供している。食事摂取量もお粥の時よりも増える傾向にある。（対象人数4名）
- ・体調等によりご飯をおにぎりにしたり、お粥と梅干などにしたり、揚げものを煮物に変更する等、体調が優れない時でもできるだけ食事を摂っていただくよう配慮している。
- ・嗜好にも可能な範囲で対応する。日曜の朝食はパン食が多いが、苦手な方は毎週和食に変更している。
- ・お寿司は特別なものであり、具材さえ超刻みなどにすれば殆どの方が食べる事が出来る。一人ずつ、可能かどうか確認し提供している。中にはちらし寿司は良いが巻きずしはダメな方も2名ほどいる。
- ・食欲のない方には、栄養補助食品やご本人が食べたいものを摂っていただき、特に水分は不足しないように気をつけている。

## 3. 栄養指導・栄養管理

- ・糖尿病食を提供している方には、施設での食事以外に間食等を摂りすぎないように、見かけたら自重していただくようお話しする。
- ・3ヶ月に1回体重を測定し、増減の大きい方については看護師、医師、介護員、相談員等と対策を協議する。食事量の変更や食形態で対処できるようであれば変更し、様子観察する。又、該当の入居者の方にもお話し、体重測定を毎週行うなど協力していただく。

・面会の方やご家族にも差し入れを控えた方が良い方にはお話し、協力していただくようお願いする。

・相談にみえた方にはしっかりとお話を聞き、自分だけで対処できる事は解決できるようお話し、難しいようであれば他職種の意見も踏まえて対応する。

・入居時に身長、体重から1日の基礎代謝量や必要摂取エネルギー量などを個別に設定しているが、最低1年に1度は見直しを行っている。

#### 4. イベント食の提供

表42 選択メニュー、行事食の実施状況

	選択メニュー・季節のメニュー
4月	お花見膳(4/1)、おやつバイキング(4/25)、 郷土料理(三重県)：伊勢うどん、四日市とんてき、麦粉のおやつ、黒蜜団子 季節のメニュー：桜羊羹、ぜんまいの煮物、菜の花のミモザサラダ、豆ご飯
5月	端午の節句祝膳(5/5)、手作りいばらまんじゅう(5/14) 郷土料理(千葉県)：すあま、鯛団子のつみれ汁、かつお飯、てこね寿司 季節のメニュー：水ようかん、ぜんまいと厚揚げの煮物、ふきご飯、山菜ごはん、菜の花のからし和え、菜花の和え物、若竹煮、柏餅、草餅
6月	実演調理：てんぷら(6/17～19)、 郷土料理(滋賀県)：焼き鯖そうめん、丁稚ようかん 季節のメニュー：筍の木の芽和え、枝豆ごはん、菜花のピーナッツ和え、冷やし碗、水月風ゼリー、冷やし中華、冷やしぜんざい、アイスクリーム、枝豆のかき揚げ
7月	土用の丑のうなぎ丼(7/29)、たこせん(7/2) 郷土料理(鹿児島県)：さつま汁、手作りさつま揚げ、かるかん、白クマアイス 季節のメニュー：冷やし中華、五目そうめん、七夕ゼリー、土用餅、アイスクリーム、冷しゃぶ、枝豆ごはん、サラダちらし、焼きそば、
8月	八朔餅風おはぎ(8/1)、お盆：盆汁、おはぎ、麦飯ととろろ汁 郷土料理(岐阜県)：鶏ちゃん、高山ラーメン、下呂名物トマト丼、五平餅 季節のメニュー：すいか、アイスクリーム、五目そうめん、冷や奴、あさりと枝豆の炊き込みご飯、冷やし中華、サラダ巻き、冬瓜の冷やし鉢、牛肉のマリネ
9月	敬老の日の祝膳(9/15)、彼岸のおはぎ(9/23)、お月見の団子(みたらし) 郷土料理(徳島県)：ほたようかん、フィッシュカツ風フライ、そば粉の炊き込みご飯、奈良和え 季節のメニュー：梅おろしうどん、すき焼き、月見天そば、秋刀魚の梅煮、きのこご飯、スイートポテト、鬼饅頭、萩ごはん、秋刀魚の塩焼き
10月	賀集楽の秋まつり(10/19)：フライドポテト、唐揚げ、焼きそば、たこ焼き、ぜんざい、冷やしパイン 郷土料理(長野県)：信州そば、にらせんべい、おしぼりうどん、おやき 季節のメニュー：秋刀魚の梅煮、芋茶巾、秋刀魚の塩焼き、おでん、柿、スイートパンプキン

11月	<p>寿司パーティー(11/6)</p> <p>郷土料理(奈良県)：柿の葉寿司、柿なます、柿羊羹、柿ゼリー、しきしき</p> <p>季節のメニュー：お刺身、松茸風きのこご飯、おでん、ちゃんぽん風うどん、ほたてご飯、</p>
12月	<p>クリスマス(おやつ)、冬至の南瓜料理、年越しそば(12/31)</p> <p>郷土料理(福島県)：いか人参焼きそば、秋刀魚のホッポ焼き、トラ太鼓風おやつ</p> <p>季節のメニュー：チキンの冬野菜カレー、雪見玉子とじうどん、柚子饅頭、にくまん、あんまん、ふろふき大根、豆腐田楽、温州みかん、おでん</p>
1月	<p>お正月風演出(1/1～1/3：ミニおせち、お雑煮など)、七草粥、小豆粥</p> <p>お餅つき(1/8)、鍋パーティー(1/28)</p> <p>郷土料理(群馬県)：じゃが芋のソース炒め、茄子のかば焼き丼、峠の釜めし風弁当</p> <p>季節のメニュー：カレーうどん、お刺身、すき焼き、ほうとう、のっぺい汁、味噌煮込みうどん、温州みかん</p>
2月	<p>節分の料理：七種巻き、節分のおやつ：チョコかすてらと甘納豆(2/3)</p> <p>郷土料理(石川県)：生姜そばろ塩焼きそば、とり野菜、ぶり大根</p> <p>季節のメニュー：ガトーショコラ、チョコパイ、温州みかん、大根の肉みそかけ、ぜんざい</p>
3月	<p>桃の節句膳(3/3)、彼岸のおはぎ、</p> <p>郷土料理(大分県)：鶏天、ごまだしうどん、手延べ団子汁、ひやき</p> <p>季節のメニュー：桜餅、ぜんざい、シュウマイまん、白菜と竹の子の炒め物、鶏南蛮そば、春菊の柚子和え、れんこんまんじゅう、ほうれん草の白和え</p>
通年の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納豆朝食(1回・月)</li> <li>・お誕生日(赤飯・カード)</li> <li>・備蓄食料の入替、補充</li> </ul>



萩ご飯とさんま



ひなまつり膳

以上